

この度は、永寿総合病院内での新型コロナウイルス感染症の院内感染によるアウトブレイクにより、入院中の患者様及び職員に今日まで多数の感染が発生し、多くの皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを大変申し訳なく思っております。

今日まで、入院されていた患者様のうち、20名の方が感染後にお亡くなりになっております。お亡くなりになった患者様には、心よりご冥福をお祈りさせていただきます。そして、私どもを信頼して頂き、病状の改善を目指しての闘病の途中で、ご期待に反した結果となってしまったことは残念でなりません。また、お身内の方との面会もできないという環境の中でのご逝去となりましたことに対しても、患者様、ご家族様に心よりお詫び申し上げます。

そして、多くの入院患者様に感染が拡がり、大きな苦痛を与えてしまっており、感染していない患者様にも退院できない状況が続くなど、多大なご迷惑をお掛けしております。

慶應病院での事例など、他施設への感染の波及も発生しており、これについても責任を痛感しております。

私どもに課せられている地域医療の中核病院としての機能も果たせない状況であり、台東区の皆様をはじめ、多くの方々に大きな不安を与えてしまっております。

私どもとしては、このような事態の解消を第一に考えておりますが、今の段階で判明していることをご報告申し上げます。

今回の新型コロナウイルス感染症のアウトブレイクは、3月20日前後の発熱者の多発から明らかになりました。一つの病棟で、患者様、看護師で発熱が多発し、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが疑われました。

発熱のある2名の患者様のPCR検査を施行し、発熱した職員の自宅待機、当該病棟の新規入院の制限等を行ない、3日後にその患者様及び職員1名のPCR検査陽性が確認されました。翌日には当該病棟全職員の出勤停止と当該病棟発熱患者様9名のPCR検査を施行し、翌日には多数が陽性であることが確認されました。その翌日から全病棟全患者様のPCR検査が開始され、全職員のPCR検査も施行することになりました。PCR検査は当院では行えないため、迅速な検体採取に努めましたが、ほぼ全職員の検査結果が得られるまでに9日を要しました。

全入院患者様、全職員のPCR検査が開始されてからは、そのPCR検査結果が得られる毎に、想定外の広範な感染の拡がりが見られ、連日、対応に追われております。懸命な対応にもかかわらず、これまで、入院患者様94名、職員69名に感染が波及する結果となりました。

なお、当院では 2 月の時点で、新型コロナウイルス感染に関連した入院事例がありました。この事例については、今回のアウトブレイク以前に収束しております。今回の事例との関連はない可能性が強いと判断しており、これについては国のクラスター対策班の検証を待ちたいと考えております。経過の詳細については、改めてご報告いたします。

当院は、病床 400 床の全 26 科からなる急性期総合病院であり、台東区の中核病院として活動しております。

感染防止の面では、急性期中核病院に求められる対策を行っており、インフェクションコントロールドクターの資格を持つ医師 3 名や感染制御専門の資格を持つ看護師、薬剤師、検査技師などからなる感染制御チームも活発に活動しております。

その中で、今回のような新型コロナウイルス感染症の急速な拡大が起きた経緯については、国のクラスター対策班による検証が行われており、その結果を反省点とするとともに、今後の医療活動に生かして参りたいと考えております。

また、入院中の患者様につきましては、院内での感染防止の徹底を図るとともに、入院中の PCR 検査陽性者と陰性者の病棟を分けて、新たな感染の発生の防止、早期発見、感染の鎮静化を図る段階に入っております。

治療面では、それまでの基礎疾患の治療に加え、新型コロナウイルス感染症の治療として、アビガンやフサン（ナファモスタット）等、効果が期待されている薬剤の治験的投与を行っておりますが、基礎疾患の重篤な患者様に病態の進行の早い例も多く、懸命な治療にもかかわらず救命できなかった方もいらっしゃいます。

また、患者様の状態及び感染の有無、経過により、保健所にご協力頂きながら、可能な場合には感染対策の整った他病院への転院を促進しておりますが、この点でも困難が多く、受け入れ可能な病院のご協力をお願いしております。

なお、当院のご利用者様に関する院内の他の取り組みは以下のようになっております。

1. 現在当院は、外来診療、救急外来診療を休止し、新規入院の受け入れを停止しております。
2. このアウトブレイク時に入院されていて、陰性確認後に退院された患者様及び同居のご家族には、健康観察をお願いし、何らかの症状発現があれば、来院をお願いし、診察、検査を受けて頂いております。
3. このアウトブレイク前を含め最近の退院患者様には、リスクが高いと判断された方から、順次 PCR 検査を実施しておりますので、連絡をお待ちください。
4. 当院への外来受診が予定されている患者様には、予約の変更や他施設への紹介、電話受診による処方箋の発行などの対応を行っております。

5. これまで外来受診されていた患者様には、通常健康観察をお願いしておりますが、状況に応じて対応を進めております。
6. 電話での相談窓口を開設し、ご利用者の方々のご不安などに対応しております。

現在、職員につきましては、出勤停止中の看護師がおりますが、その他の職員の勤務体制は、ほぼ維持されております。厳しい状況の中で入院患者様の治療にあたり、感染収束に向け懸命に努力しております。

また、外来部門については、病棟での感染の鎮静化の状況により、診療開始の準備を進めて参ります。

私どもの力だけでこの困難を克服することが厳しい中、皆様からは多くの激励やご支援を頂いており、大きな励みになっております。

以上、現在までの状況で判明している事実及び調査中である事実をご報告申し上げますと同時に、皆様にご心配とご迷惑をおかけしておりますことを重ねてお詫び申し上げます。

永寿総合病院 院長 湯浅祐二